

# 參考資料

## 収支改善施策まとめ（令和4～12年度）

### （1）遊休資産の利活用や売却等

○物件事情を考慮した手法を検討

### （2）営業業務の民間委託に向けての検討

○窓口・電話受付・閉開栓・料金徴収等業務民間委託

【改善額】 収益的収支：1億1,100万円      資本的収支：300万円

### （3）水道施設の再編成

○ビジョンに掲げる施設統合・廃止・縮小に伴う維持管理費の削減

【改善額】 収益的収支：2,200万円

### （4）府内水道事業者との広域連携

○連携する内容のメリットやデメリットを踏まえて検討

### （5）上下水道部の組織再編

○統合等の効果的・効率的組織体制の構築

**(6) 債券運用等の新たな収入確保**

○運転資金として活用しない範囲で債券運用

【改善額】 収益的収支：400万円

**(7) 建設改良費に充てる国庫補助金獲得**

○企業債発行抑制

【改善額】 収益的収支：5,500万円      資本的収支：5億5,000万円

**(8) 企業債発行のあり方について**

○多額の建設費を要する期間は、企業債残高に対する給水収益の率等に留意しながら企業債を発行

**(9) 低所得者向け料金のあり方について**

○公営企業においての実施は適当でない。福祉施策としての検討

**(10) 料金体系の見直しについて**

○用途別から口径別への移行は基本料金・従量料金全体の抜本的見直しが必要

**改善額計 収益的収支：1億9,200万円      資本的収支：5億5,300万円**

# 新型コロナウイルス感染症による影響

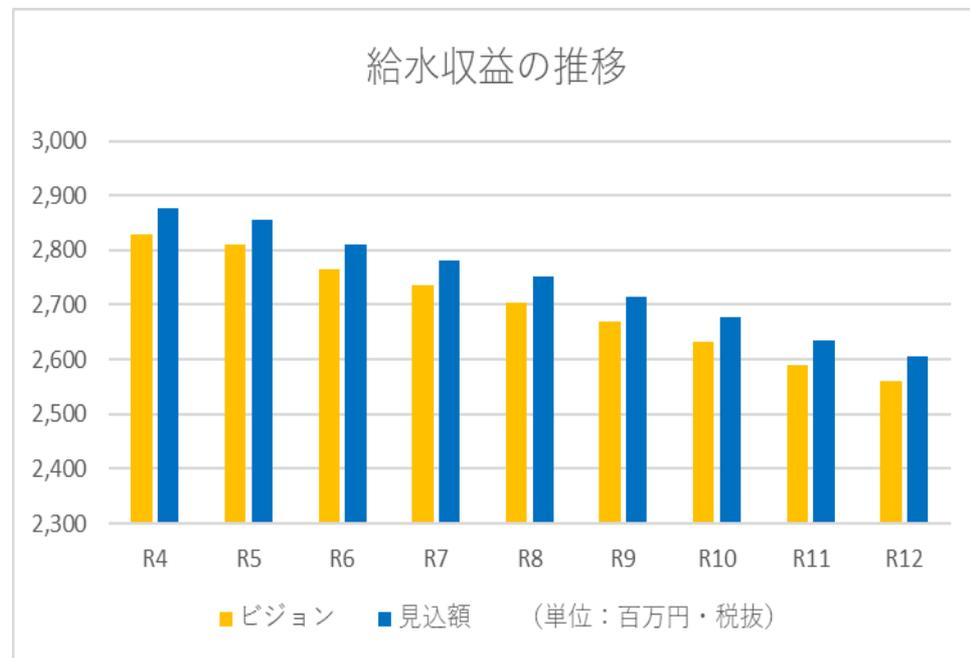
## ◇1人1日あたりの生活用水量の増加

○新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による外出抑制や手洗い励行などの実施で家庭での使用水量が増えたため、コロナ前の令和元年度と比較して令和2年度より1人1日あたりの生活用水量は増加している。

○令和3年度は年間で7%、緊急事態宣言後でも5%の増加が見込まれる。近隣の他団体でも同様に水量が増加していることから、テレワークの導入や手洗いの継続など生活スタイルの変化により使用水量が増え、今後もその影響が一定期間続くと見込んでいる。

## ◇給水収益への影響

○生活用水量が増えることにより、給水収益が増額となる。



**ビジョン期間R4～12年度で 4億1,300万円の収支改善が見込まれる**

## 水道料金の改定

### ◇料金算定期間：4年間（令和4年度～令和7年度）

#### ・宇治市水道事業ビジョン・経営戦略（令和3年3月策定）

収益的収支4年間の収入は、136億3,800万円  
《うち給水収益111億3,900万円》【A】  
支出は、158億1,300万円  
収支不足額  $\Delta$ 21億7,500万円（①）

#### ・収支改善策

収益的収支4年間の収入は、900万円の増加  
支出は、4,000万円の削減  
計 4,900万円の収支改善（②）

#### ・生活用水量増に伴う給水収益増

収益的収支4年間の収入は、1億8,600万円の増加（③）【B】

 収益的収支4年間の収支不足額  $\Delta$ 19億4,000万円（①－②－③）

### ◇料金改定率

今回の料金改定では、収支不足額19億4,000万円を確保できるよう改定する。

収支不足額：19億4,000万円 給水収益：113億2,500万円（A+B）

**料金改定率⇒17.1%**（19億4,000万円÷113億2,500万円）